

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

パッキンをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ふたユニット

ふたユニットは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

△お手入れ上の注意

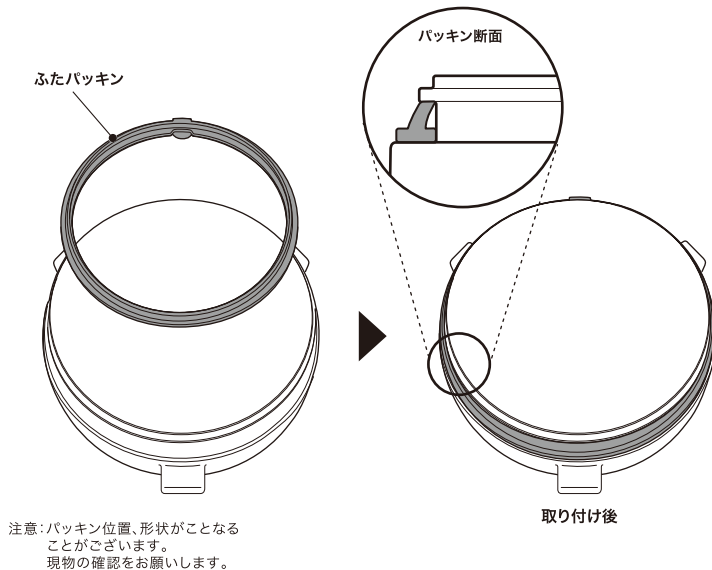
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。
水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。
- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズやサビ、破損の原因になります。
- 本体やふたユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは使用しないでください。
変形や漏れの原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
サビ、破損の原因になります。
- 本体・ふたユニットの浸け置き洗いなどはしないでください。
- お手入れの際、ふたユニット内部に水が入ることがありますが、使用上問題はありません。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

6

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

お手入れなどでふたパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。



- パッキンは消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



7

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

本体内部にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたユニットを取り付けず3時間程度放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

材料の種類		実容量	保冷効力
本 体	内びん／ステンレス鋼	2.6L	9℃以下(6時間)
	胴 部／ステンレス鋼 (ポリエステル樹脂塗装※1) (アクリル樹脂塗装※2)	4.0L	9℃以下(6時間)
ふ た	ポリプロピレン		
ハ ン ド ル	ステンレス鋼、ポリプロピレン		
ロ ッ ク	ステンレス鋼、ポリプロピレン		
パ ッ キ ン	シリコーンゴム		
底 カ バ ー	シリコーンゴム		

※保冷効力とは、室温20℃±2℃において製品に冷水をふたユニットの下端まで入れ、水温が4℃±1℃になったとき、ふたユニットをして縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、ふたユニットまでの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

※1 ブラック、カーキ、ターコイズのみ
※2 シルバーマット、シルバーグリーン、シルバーネイビーのみ

MADE IN CHINA

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
<https://www.atlas-scm.jp/>

お問い合わせ TEL.042-660-8870
受付時間 9:00~18:00
月~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店または上記のお問い合わせ先までご連絡ください。

8



アイスコンテナ

共通取扱説明書

AWJB-Bシリーズ

このたびは、当社のアイスコンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用の前に

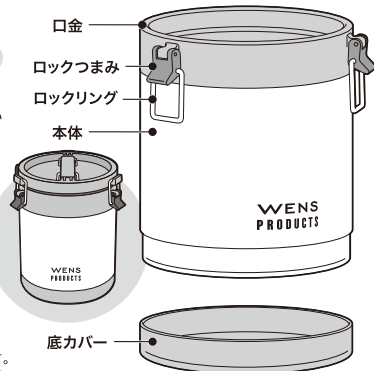
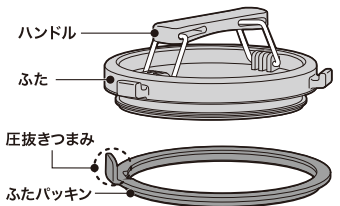
- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内部・ふたユニットを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

保冷専用

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

●各部のなまえ

ふたユニット



1

アイスコンテナ

AWJB-B2600,4000 共通
取扱説明書 表面 版下

w420×h130mm
色: 1C
'25.10.06

新規 '25.10.06 加藤

⚠️ ご使用上の注意 保冷専用



警告

- この商品は、保冷専用です。
熱いものは絶対に入れないでください。
内圧が上がリ、中身の噴出やけどの原因になります。



注意

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- 保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。
- 飲みものや食べものを直接入れないでください。
- 氷を入れて結露する場合は、構造に不具合のある場合がありますので使用しないでください。

- 氷の量は、取扱説明書5ページ右上の図を参考にしてください。
入れすぎるとふたユニットが開かなくなったり、閉めたときに中身が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ものを濡らす原因になり危険です。

- アイスピックなどの先のとがったもので突かないでください。
真空が維持できなくなり、保冷不良などの原因になります。

- パッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。(7ページ参照)
中身が漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
パッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。

- ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
中身が溢れ出す原因になります。また、漏れてものを濡らす原因になり危険です。

- ふたユニットが確実に閉まっていることを確認してください。
閉め方が不十分ですと、傾けた場合に中身が漏れ、ものを濡らす原因になり危険です。

- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。

- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

- 冷凍庫には入れないでください。

- 使用後は本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。
ふたユニットを確実に閉め、本体を傾けたりして漏れないことを確認してください。

- 製品の構造上、湿度が高いときにふたユニットに水滴がつく場合があります。
ご注意ください。

- 氷を入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

- ドライアイスは絶対に入れないでください。
内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、中身が噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあります。

- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
6ページの「お手入れ方法」に従って汚れやにおいを落とし、十分に乾燥させてください。

- 落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保冷不良の原因になります。また、ふたユニットの破損の原因になります。

- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因となり危険です。

- 車などに乗せて運ぶときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
持ち運ぶ際はロックをきちんと閉め、ふたやギャップ部分を持って運ばないでください。

- ロックは必ず3カ所しめて使用してください。
ふたユニットがはずれ、ケガやものを濡らす原因になります。

- ロックを開閉する際や、ハンドルを上げ下げする際に指を挟まないよう注意してください。

- 本体やハンドルを持って振り回すのはやめてください。
破損、事故の原因になり危険です。

- 使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

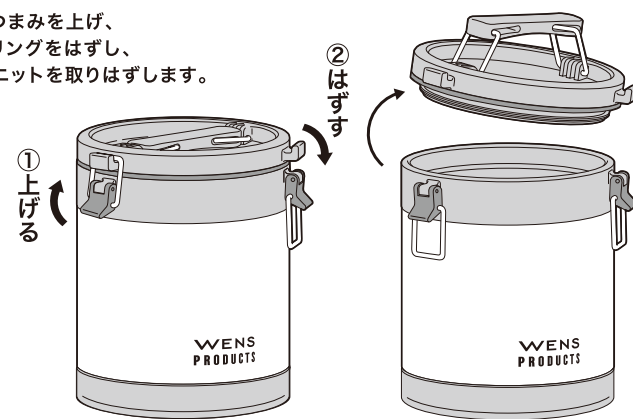
ご使用方法

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 ふたユニットをはずす

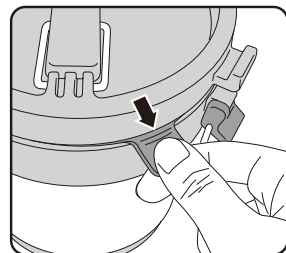
ロックつまみを上げ、
ロックリングをはずし、
ふたユニットを取りはずします。



ふたユニットが開けにくい時は

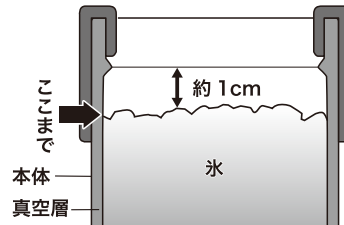
- ①全てのロックをはずします。

- ②圧抜きつまみを引っ張ります。内部の圧が抜け、ふたユニットが開けやすくなります。



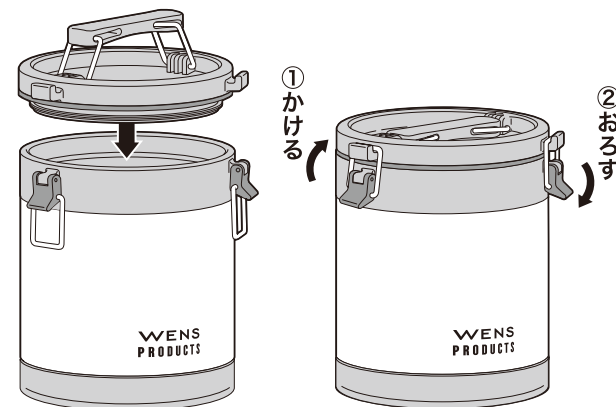
2 氷を入れる

氷の量は、右図の ➡ 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを閉めてください。



3 ふたユニットを閉める

ふたユニットを本体にはめ、
ロックリングをふたユニットにかけ、
ロックつまみを下におろして閉めてください。



アイスコンテナ
AWJB-B2600,4000 共通
取扱説明書 裏面 版下

w420×h130mm
色：1C